

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

千葉県 柏市

自治体名：千葉県 柏市

担当課名：柏市教育委員会 学校教育部指導課

電話番号：04-7191-7369

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	114.74 km ²
人口	436,409 人
公立中学校数	21 校
公立中学校生徒数	10,294 人
部活動数	約250 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	有
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	部活動のあり方に関するガイドライン【中学校版】

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

柏市では、令和5年度より陸上競技部と吹奏楽部を除く全ての部活動（土日に活動をしていた競技を対象に）の地域移行を開始。

運営団体である一般社団法人柏スポーツ文化推進協会（KSCA）統括のもと、約150のクラブが立ち上がった。

令和6年度には、陸上競技部と吹奏楽部の地域移行に向け準備を進めた。

特に、陸上競技部と吹奏楽部の地域移行に向けては、運営団体・専門委員長（兼職兼業の顧問）・教育委員会で運営方法について検討を重ねた。

令和6年度11月より陸上競技と吹奏楽の地域クラブがスタートしたことで、部活動の地域移行が完了した形となる。

地域クラブの運営には勤務管理や保護者への連絡等、様々なシステムが必要不可欠である。

一方で、使用するシステムが増えることで保護者や指導員からシステム使用に関する負担の声が挙がった。

本実証事業では、地域クラブの運営に必要なシステムを精選し、改良することで、より効率的な地域クラブの運営に向けて取り組んだ。

部活動の抱える課題

少子化に伴う部活動数の減少

教員が子どもと向き合う時間の確保（働き方改革）

学校単位の部活動の限界

今後、求められること自治体・地域・学校が連携し

【子どもたちの活動環境を持続可能な形で確保する】

学校部活動を地域へ移行（展開）していく

休日の部活動を地域クラブに移行



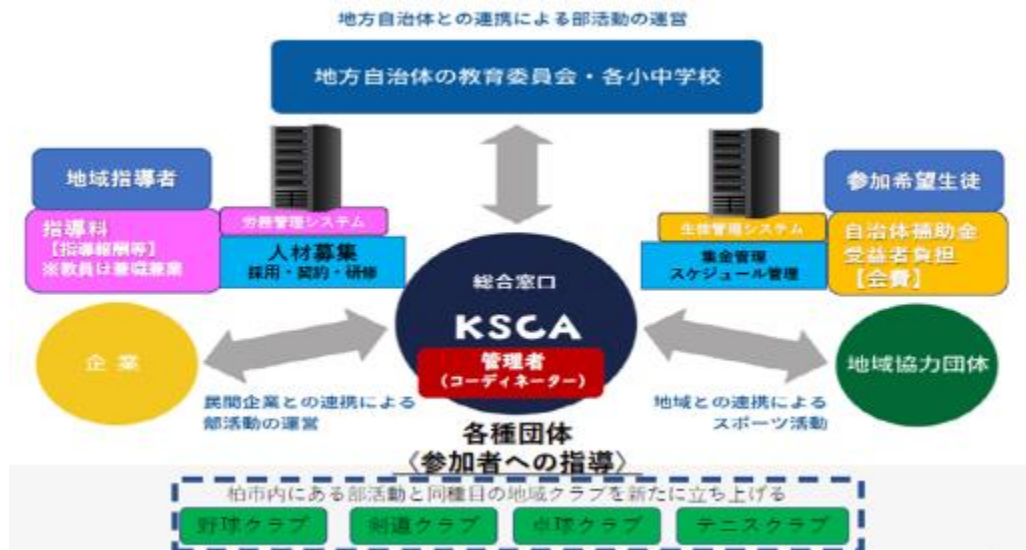
部活動のあり方に関するガイドライン【中学校版】（令和6年9月施行）
（学校部活動）土日は原則、活動を行わない

⇒土日に活動を望む生徒、教職員の活動機会の確保＝地域クラブ
＊地域クラブへの登録は任意

2.実証内容と成果①

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・運営団体と協定・連携
- ・学校と運営団体との連絡調整

◎首長部局

- ・補助金等交付に際しての事務

年間の事業スケジュール

令和5年 9月	部活動の地域移行開始 13種目（約150クラブ）
令和6年 1月	次年度へ向けた指導員募集
令和6年 3月	次年度へ向けた体制整備
令和6年 4月	新年度の体制に向けた 引継ぎ期間
令和6年 5月	新体制での地域クラブ開始
令和6年 6月	陸上競技開始に向けた予備調査 管理職向け説明会
令和6年 10月	新システム構築へ向けた検討会等 開始
令和6年 11月	陸上競技の地域クラブ開始 全種目の地域移行が完了
令和7年 1月	システム導入に向けた試験運用等 開始
令和7年 2月	アンケート調査実施

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	21 校	実施した地域クラブ総数	175クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		170 クラブ（12部活）
	B：部活動にはない種目など、新規のクラブ数		5 クラブ
全体の指導者数	約300 人	全体の運営スタッフ数	約5 人

②各クラブに関すること

中学校名	クラブ名	運営団体 種別	種目	実施回数 (平日・休日)	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
市内中学校	地域クラブ	柏スポーツ文化推進協会 (KSCA)	17種目	・平日 0 回 ・休日 1 回 土日どちらか	施設の空き状況により変動 3時間	中学生 1～3年生	通年	約300 人	約5人 (内、兼務5人)	年間登録料 5,000 円/月会費 2,000 円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

※詳細についてはスライド5、6へ記載

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- ダンスクラブは文化施設を借りて発表会を実施
- 保護者と生徒が参加できる栄養学セミナーの開催
- 野球クラブは地元企業協賛で冠大会を開催
- その他の種目についてもKSCA主催大会や交流試合を実施

2.実証内容と成果②

地域スポーツクラブ活動の運営実績



2.実証内容と成果③

地域クラブ活動の運営実績

休日部活動 ⇒ 地域クラブ展開（クラブ数／加入生徒数）

市内中学校数 公立校 21校

全18種類 **（R7さらに新クラブ設置予定）**

クラブ数 196クラブ

合計 3,224名 **（＊現3年生は除く）**

指導者数

教員（6割）

一般（4割）

計

約178名

約136名

304名

バスケットボール (C38/599)	ソフトテニス (C25/421)	軟式野球 (C14/245)	バドミントン (C11/169)	剣道 (C9/77)	ハンドボール (C1/24)	体操 (C1/2)	ダンス (C1/7)	吹奏楽 (C21/424)
								
相撲 (C1/20)	卓球 (C18/351)	サッカー (C16/276)	ソフトボール (C2/27)	バレーボール (C18/333)	柔道 (C2/11)	女子サッカー (C1/5)	陸上短・長距離 (C16/210)	硬式野球 (C1/23)
								

2.実証内容と成果④

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

現在、地域クラブで使用しているシステムや連絡方法等について、令和5年度末に実施した指導員・保護者への満足度調査の中で、不満の声が挙がった。

そこで、地域クラブの運営に必要なシステムを精選し、改良することで、より効率的な運営に向けて取り組む。

そして、運営団体や指導員・保護者・学校等の関係各所のシステム使用に伴う負担感の軽減を図る。

令和6年度末に再度指導員、保護者への満足度調査を行いシステムについて改善が見られたか、また、今後の課題について洗い出す。

取組の成果

受益者負担型の地域クラブを総括・運営する団体としてクラブ入会・退会等の導線が不明瞭な部分が多かったが、Webページとの連動性を設け保護者が簡易的かつ明確な操作が可能な状況へと改良された。活動スケジュールにおいても、総合的なスケジュールはwebサイトより閲覧可能であったが、登録されたマイページの中で活動スケジュールを週間ごとに適宜確認することが出来、指導者もマイページより修正・変更等がかけられるようになり、スケジュール相違が減少させることが出来た。出欠管理においては、出席表明のみとなっていたが早退、遅刻なども選択出来るようになり、クラブ生の動向が明確となり通会の安全面等も向上した。費用徴収におけるシステムは、一定のweb決済は行えたものの振替等に関しては、アナログな書面の取り交わしをしていたが、スマートフォン等のwebからの登録操作が可能となり、諸手続きの簡略化が実現された。また大会費等の都度回収費用なども対応可となった。運営側から個別にメッセージが出せなかったが、1on1の双方向性が可能となり保護者との連絡が円滑となった。最後に指導者の労務管理も、アナログなシートを活用していたが、勤怠管理システムを刷新させ、生徒管理システムデバイスのサイト連携を図れるように改良された。



連絡機能



月謝管理



スケジュール管理



施設の鍵管理



権限管理



データ集計

今後の課題と対応方針

学校施設利用において、学校側、地域クラブ側での調整が、専任者において引き続き必要な状態であり、月間での作業負担となっている。また文化部等の校舎利用なども必要となる中、セキュリティ問題も課題となっている。対応としては活用区分や利用者をデジタルで管理すべくスマートロックや入退館記録型のデバイスも導入し可視化する。アナログな鍵の施錠や利用管理に手間を取ること無く安全に利用することが出来るようになる。また、公式大会の地域クラブ参加における運営側の人員確保また、大会開催における要項等の統一、運営の協力体制など、引継ぎなど併せて、新しい活動モデルを構築していく必要がある。その中で、より種目ベースで詳細な運営体制を協議し、子ども達の活動環境の持続性を高めていきたいと考える。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

地域クラブの運営には勤務管理や保護者への連絡等、様々なシステムが必要不可欠である。

一方で、使用するシステムが増えることで保護者や指導員からシステムの使用に関する負担の声が挙がっていた。

本実証事業では、地域クラブの運営に必要なシステムを精選し、改良することで、より効率的な地域クラブの運営に向けて取り組んだ。

運営団体とは、現場に求められるシステムについて繰り返し協議を行った。

実践の一例として、今年度は、市内全中学校に導入している連絡ツールの使用を試みた。これにより、保護者や兼職兼業職員は、学校で使用している連絡ツールと同じもので、地域クラブからの一斉連絡を簡単に受け取ることができる。

これにより、連絡ツールに対する満足度調査では、生徒・保護者からは肯定的な回答の割合が8割以上と高い結果を得ることができた。

一方で、指導員への連絡ツールに対する満足度調査では、教員からは肯定的な回答が約6割。一般の指導員からは肯定的な回答が約4割にとどまった。

●成果の評価

システムの精選、改良を行ったことで、生徒・保護者からはシステムの使用感に関して、当初の目標をであった満足度8割以上を達成し、成果を得ることができた。

一方で、指導員からはシステムの使用感に関する満足度については、目標には届かない結果となった。しかし、本実証事業を通して、指導員が求めるツールやシステムについて、改めて確認することができたことは大きな成果と言える。

特に、指導員からは大きく2点、地域クラブの連絡システムに求める声が挙がっている。

まず、1点目は「個々への連絡」についてである。意見として、大きな怪我や急な変更等については、より連絡のスピード感を求める声が挙がった。また、顧問との連絡調整なども部活動と地域クラブを連携させていく上では必要不可欠であるとの意見が挙がった。

2点目は、「スケジュール機能」についてである。現在も、システム上でスケジュールをまとめたり、変更したりすることができるように改善はされているが、施設調整の難しさからか、課題として感じている声が多かった。

●今後に向けて

本実証事業では運営団体と協議を重ね、システムの精選、改良を行い、成果を得ることができた。

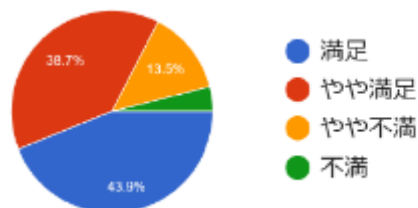
挙がってきた課題に対しては、引き続き協議を重ね、より良いシステムを構築していくことで、地域クラブの運営がより円滑に行われるよう努めていく。

2.実証内容と成果⑥

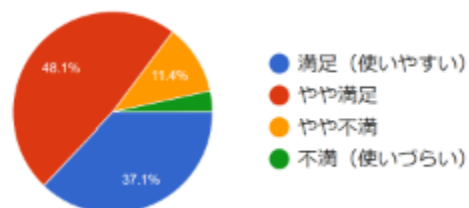
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果（生徒・保護者）

Q.クラブ活動に対して
満足していますか？

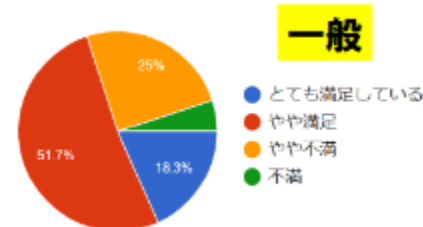
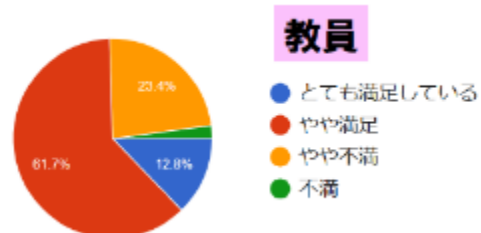


Q.専用連絡ツールの利用に関する
満足度を教えてください

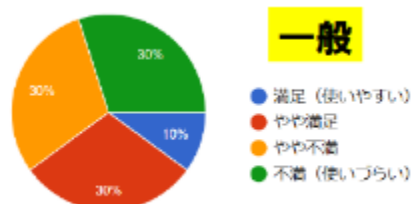
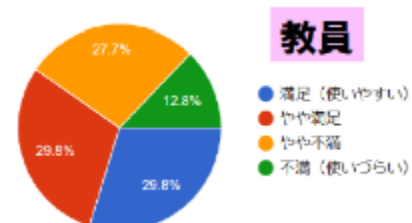


●アンケート結果（指導員）

Q.本クラブの活動内容についての満足度を教えてください



Q.専用連絡ツールの利用に関する満足度を教えてください



●参加者の声

生徒（令和6年度新設：陸上クラブ）

- ・拠点校方式では、複数の学校が合同で活動を行っているため、お互い良い刺激となっている。
- ・他校の生徒との交流ができて嬉しい。

指導者（一般）

- ・横の繋がりもあるので他校とのコミュニケーションも取れるようになってきている。
- ・競技未経験でも、楽しいからという理由で参加してくれる子が増えた。
- ・子ども達の成長の一助になっていると実感できる点良かった。

指導者（教員）

- ・生徒が外部のコーチと接することで、より社会性を身に付けられると思う。
- ・学校には来られなくても、地域クラブには来られる生徒がいる。長欠生徒や学校で活躍の場が少ない生徒の居場所になっている。
- ・地域クラブと部活動の連携をより確実にする。顧問も地域クラブに任せきりではなく、連携・連絡・調整等に関わっていくことが大切である。

広報資料

関連リンク

【運営団体HP】

<https://kashiwa-sca.jp/>

生徒登録, 指導員登録,
活動スケジュール, 問い合わせ 等



【地域クラブNet】

<https://kashiwa.chiikiclub.net/>



【動画説明：【部活動地域移行】柏市の部活動…
“クラブ化”するとどう変わる？】

<https://www.youtube.com/watch?v=nP09Lppvwk4&t=3s>



2.実証内容と成果⑧

参考資料（活動写真）



【主催大会の様子（野球）】



【今年度スタートした陸上クラブの様子①】



【今年度スタートした陸上クラブの様子②】



【指導員へのスキルアップ研修の様子】

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

柏市の部活動改革ロードマップ

年度	地域移行	中学校部活動	小学校特設クラブ	部活動ガイドライン
R 2	●地域移行の方向性をWGにて協議	●部活動のあり方をWGにて協議	◇バスケットボール教室廃止を 周知 ※感染症の影響により大会なし	
R 3	地域運動部活動推進事業 【1校4部活動】 ・地域人材を確保・仕組み ・地域部活動の運営団体の確保 ・費用負担のあり方整理 ・学校と地域の役割分担整理	【休日】 部活動	【平日】 部活動	【ガイドライン改定】 ・小中別々に策定 ・活動時間、活動日の削減
R 4	地域移行を周知		◇「柏市主催行事」廃止を周知 ・陸上競技大会（陸上4・1校出場） ・音楽発表会（吹奏楽4・2校出場）	
R 5	部活動の地域移行開始 ・R5.9月 全市的に休日ににおいても活動していた13種目 ・R6.5、6月 部活動にない2種目（ダンス、女子サッカー） ・R6.10、11月 校舎内を使用する文化部（吹奏楽）、特性を生かした陸上競技	地域クラブ	◆「柏市主催行事」廃止 ・陸上競技大会（陸上3・7校出場） ・音楽発表会（吹奏楽3・4校出場）	●部活動ガイドラインをWGにて協議
R 6			(吹奏楽5校活動)	【ガイドライン改定】 ・土日は原則、活動を行わない ・今後の方向性示す
R 7	地域移行完了(休日) 県大会の要件によっては、部活動としての活動あり	●部活動削減（休部・廃部） ●総合部活動等(注1)設置 【特設期間内の部活動】	部活動改革推進期間 ・各校の活動の見直し ・廃止へ向けた周知の期間	●部活動ガイドラインをWGにて協議
	●小学生(高学年)の受け入れ態勢の整備 ●中体連、協会、連盟主催大会の参加要件、運営方法の整備		【今後の在り方】 吹奏楽：県や地域、独自の発表会 陸上競技：地域クラブ中心	
R 8	【地域クラブの魅力の創出と充実】 ●地域クラブ主催大会等 ●多世代や地域との交流 ●新種目の展開(フライングフットボール、美術、英語、演劇、PC等)	●総合部活動(運動・文化)の充実	原則、活動を行わない ※大会や地域行事等参加のため活動を行う場合は1ヵ月程度	【ガイドライン改定】 ・完全下校17:00 ・小学校版廃止